

信長



特別公開される摺見寺本堂の織田信長像(安土町・摺見寺)

特別公開は安土城跡入山料五百円の他に特別拝観料千円が必要。対象は高校生以上で、抹茶接待が付く。(北島寛之)

あの朝忘れじのしおり JR脱線負傷者ら作製

尼崎JR脱線事故の負傷者や家族が、事故

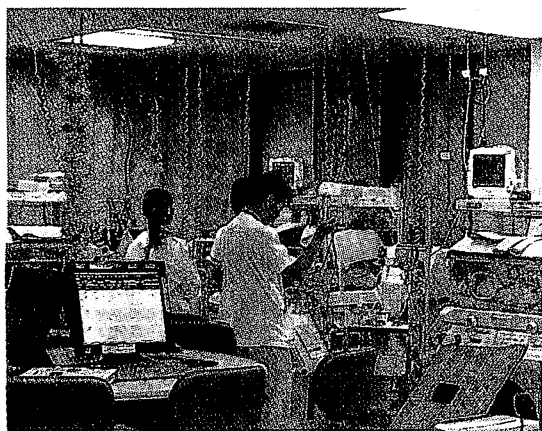
の記憶を風化させないようと、丸四年となる二十五日を中心にJR尼崎駅などで配る約三千枚のしおりにリポンを結ぶ作業が四日、兵庫県川西市で始ま

た。しおりの作製は「JR福知山線事故・負傷者と家族等の会」が提案。裏には「あなたの道しるべ」と書かれた詩を載せた。「辿(たどり着きたか)った場所へ行けないまま逝ってしまったたくさん

早産児心の発達探る

早産の赤ちゃんの心の発達に、生後直後からの母親とのかかわりや保育器などの環境、検査などの医療行為がどのように影響するか調べる研究を京都大教育学研究科(京都市左京区)と医学部付属病院(同)が始めた。周産期医療の充実が社会的課題となる一方、早産児の心の発達の研究は世界でもほとんどなく、日本で増えている早産児の健やかな成長につなげたいという。

京大が研究開始



赤ちゃんの命を守るNICU(京都市左京区・京都大医学部付属病院)

研究に取り組むのは教育学研究科の明和政子准教授、京大病院新生児集中治療部(NICU)医長の河井昌彦助教ら。科学技術振興機構「ERATO岡ノ谷情報情報プロジェクト」の一環として二〇一三年度まで行う。人の赤ちゃんは胎内にいる時も母親の声を聞き分けて口を開けるなどの反応をしたり、新生児も他者の表情をまねたりコミュニケーション

「健やかな成長を」

最近明らかになった。一方で、早産の低出生体重児は表情変化に乏しく、母親が育児ストレスを抱えるなどの報告がある。NICU入院時の赤ちゃんのストレスの蓄積や他者とのコミュニケーション不足が後の心の発達に影響しているのではないかと指摘もある。

研究では、京大病院で出産した赤ちゃんに家族の同意の上で協力を求め、母親の語りかけや採血などでの赤ちゃんの脳波や血流の増減、心拍数変化などを測定し、赤ちゃんの心の状態や生理的反応を調べる。三歳ぐらいま

京の3高校と佛大教育連携 佛教大(京都市北区)は四日、大谷高(東山区)、京都成章高(西京区)、花園高(右京区)の三高校と教育事業を共同で実施する教育連携協定を結んだ。教育連携協定は、高校と大学が協力して生徒と学生の相互交流やインターシッピングなどを実施する事業。佛教大はこれまで四高校と

協定を結んでおり、今回で計七高校となった。協定調印式は佛教大であり、同大学や三高校の校長ら約二十人が出席した。山極伸之学長は「三高校はいずれも仏教が基盤で人材育成の目標は同じ。すべての人に意義深い教区事業となることを願っている」とあいさつ。



尼崎JR脱線事故の負傷者らによって作製されたしおり